

「進級する皆さんへ」

校長 十田 孝志

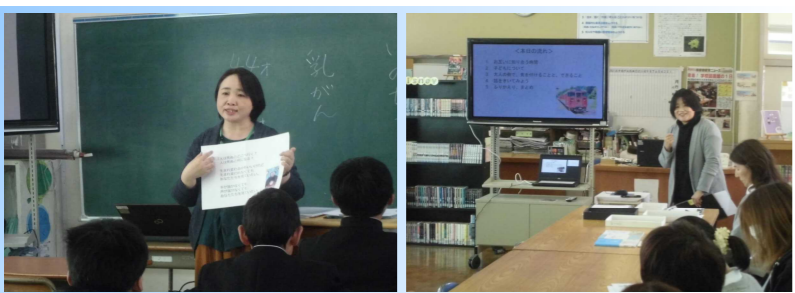
令和初の卒業式が縮小されたので、1・2年生のために式辞の要旨を以下に紹介します。

- 「(今回のコロナウイルスのように)人生には思うようにいかないことや、予期せぬ出来事が起こりますが、その時にどんな判断をしてどっちへ進むのか、その一つひとつの判断で皆さんのこれからの人生が大きく変わっていきます。色々な出来事をポジティブに考えられる人は、人生の軌道を良い方向へ良い方向へと向けていくことができます。」
- 「大変な時にこそ周りの人に『大丈夫?』『元気かい?』『一緒に頑張ろうよ!』と暖かな励ましの声を掛けられる人になってほしいと願っています。」

1・2年生の皆さんは4月からそれぞれ次の学年へと進級しますが、今回のような出来事が起こった時には、落ち着いて余計な情報等に振り回されず、今自分がやるべきことに集中して取り組むことが大切です。休業期間中、3年生は公立入試や卒業式がありました。しかし、在校生の皆さんは卒業生の姿から次年度に向けての心の準備をする機会を得ることができませんでしたので、一人ひとりが卒業生の気持ちを想像して、各自セルフコントロールしてください。

保護者並びに地域の皆様方には今年1年間、本校の教育活動に対しまして様々なご協力をいただきましたことに深く御礼申し上げます。

「いのちの授業」・「学校保健委員会」



2月27日(木)4校時、がんサポートかごしま理事長の三好綾先生を講師にお迎えして、「いのちの授業」を2年生の学級で行いました。この授業の中で、「がんに関する知識」や「一日一日を精一杯生きていくことの素晴らしさ・大切さ」等先生のこれまでの経験を通して、私たちに多くのことを教えてもらいました。

14時から、「思春期の子どもたちとともに～私たち大人ができること～」をテーマに、県広域スクールソーシャルワーカーの米倉治美先生を講師にお迎えして、「学校保健委員会・水引校区青少年健全育成会の合同教育講演会」が行われました。子どもの自尊感情をどのように育てていくかなど今後の子育てについて大変参考になりました。

三好綾先生、米倉治美先生お忙しい中、本当にありがとうございました。

第73回 卒業式



12日(木)、第73回卒業式を挙行了いたしました。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため生徒・保護者のみの参加による開催となりました。生徒一人一人校長先生から卒業証書を受け取りました。式後に卒業生・保護者の皆さんと楽しく記念撮影を行いました。

18名の卒業生の皆さんの今後の活躍を大いに期待しています。

学校関係者評価

水引中学校区では学校の教育活動の観察や意見交換等を通じて、学校を評価してもらい学校運営に役立てるために、9名の学校関係者評価委員(学校運営協議会委員)の皆様、学校の教育活動等について4段階で評価していただきました。なお、評価の低かった項目やご指摘いただいた点につきましては、来年度、改善のための取組を充実させたいと思います。

| 番号 | 事項 | 評価項目 | 学校関係者評価委員による評価(集約) | | | 番号 | 事項 | 評価項目 | 学校関係者評価委員による評価(集約) | | |
|----|-----|--------------------------------------|--------------------|----|----|----|-----|--|--------------------|----------|----|
| | | | 評価(数値平均) | 段階 | 人数 | | | | 平均 | 評価(数値平均) | 段階 |
| 1 | (1) | 校長の学校経営方針等が保護者や地域に伝わっている。 | 3.1 | A | 3 | 9 | (7) | 子供たちの学力や体力の実態が保護者や地域によく知らされている。 | 2.4 | A | 5 |
| 2 | (1) | 望ましい子供の姿(知・徳・体)に向かって数値的目標を設定し努力している。 | 2.9 | A | 1 | 10 | (7) | 保護者や地域は学校の教育活動に対して協力・支援を行っている。 | 2.8 | A | 1 |
| 3 | (2) | 子供たちは、楽しそうに生き生きと学校生活を送っている。 | 2.9 | A | 1 | 11 | (6) | 小中一貫教育は、積極的に実践され、子供たちの姿として現れている。 | 3.1 | A | 2 |
| 4 | (2) | いじめや不登校など生徒指導上の課題解決に向けて積極的に取り組んでいる。 | 2.9 | A | 1 | 12 | (6) | 薩摩川内元気塾は、子供たちに夢や元気を与えてくれている。 | 3.3 | A | 3 |
| 5 | (3) | 子供たちの安全(登下校時、自然災害時)について細心の注意を払っている。 | 2.9 | A | 2 | 13 | (6) | 英語教育の推進について、小・中・義務教育学校の特徴を活かして充実が図られている。 | 2.9 | A | 1 |
| 6 | (4) | 教職員は、子供や保護者、地域との望ましい関係を築いている。 | 2.4 | A | 1 | 14 | (2) | 子供たちは、学校や地域で進んであいさつをしている。 | 3 | A | 4 |
| 7 | (5) | 学校は常に整理整頓、清掃され、花や緑に囲まれている。 | 3.4 | A | 4 | 15 | (8) | 子供たちは、地域の中で様々な活動に元気よく参加できたか。 | 3.2 | A | 4 |
| 8 | (5) | 学校の施設・設備は定期的に安全維持管理のための点検等がなされている。 | 3.4 | A | 4 | | | | | A | 4 |

家庭教育学級閉講式!



2月20日(木)、家庭教育学級閉講式が水引中学校図書室で行われました。この中で十田孝志校長先生の講話が行われ、「家庭の中で自分の役割を持つことの大切さ」や「お手伝いをする効果」などこれからの子育てにとっても参考になるお話をしていただきました。

鹿児島学習定着度調査結果

1・2年生を対象に行った鹿児島学習調査の5教科平均通過率についてお知らせします。
【1年生】 平均通過率 71.6% (市平均65.6%)
【2年生】 平均通過率 52.7% (市平均61.5%)
 今回の調査結果を踏まえ、今後さらに学力を向上させるための指導方法の改善に努めてまいります。

3月25日(水)で令和元年度が終わります。保護者、地域の皆様方には、本校の教育活動に対し深いご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。4月からは新体制でさらに努力してまいります。来年度もどうぞよろしくお祈りいたします。